

明石川のPFAS汚染について

早急に 排出源を特定し、規制を!

発がん性や免疫抑制などが指摘されている有機フッ素化合物 (PFAS) が全国の河川で測定されています。環境省では、暫定目標値を1㍑当たり50ng(ナノグラム)以下と設定していますが、明石川上流域では2021年11月に**490ngという全国2位となる極めて高い値が検出**されました(参照:クローズアップ現代HP)。この状況を神戸市環境局に確認したところ、**2020年から年4回、複数箇所にてPFASの測定をしているが、未だ発生源は特定できていませんとの回答**でした。引き続き調査を継続していくということでした。神戸市では、明石川の水を水道水にはしていませんが、明石市では2025年度より水道水を阪神水道企業団より受水することに変更します。2024年度から環境省でも生物に対する有毒性を調べる事業を開始することが決まりました。PFASは人工的につくられた有機化合物ですから、排出源があります。私からは、**神戸市環境局に調査箇所や測定回数などを増やして、早急に排出源を特定して、規制をするようお願い**しました。今後も、通信を通じて情報提供をしていきます。

PFASの測定場所



【PFASの測定場所と検出値】 ※単位:ng/L

		2020年11月	2021年11月	2022年11月	2023年2月	指針値 50 ng/L
明石川	藤原橋	43	120	27	410	
	西戸田	—	300	140	170	
	平野橋	—	220	120	170	
	中津橋	—	490	140	190	
	玉津大橋	220	460	100	180	
	上水源取水口	200	260	71	120	
伊川	水道橋	—	88	15	86	

PFASとは...

金属メッキ剤や泡消火器剤、フッ素ポリマー加工剤として主に使われてきた人工的につくられた有機フッ素化合物の総称です。**PFASは、難分解性、高蓄積性という性質を持ち、動物実験により、発がん性や免疫系への影響が指摘されています。**人体への影響は不明ですが、予防的な考え方に立ち、ストックホルム条約により現在では製造や使用、輸入が禁止されています(参照:環境省HP)。

お知らせ

中学校給食について

現在はランチボックスで民間調理場から各学校に配送している中学校給食が、**小学校と同様に温かく、量の調節にも対応できる「おいしい給食」に改善**されます。西区の13校の中学校は、2025年4月から全員給食になります。小学校と同様に食物アレルギーにも対応されます。

現在

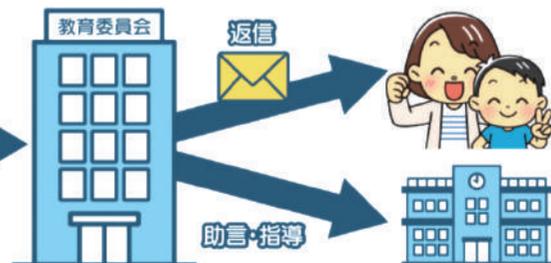


全員喫食制移行後



お困りごとポスト

学校への意見や要望など、また困りごとなどを保護者や児童生徒が直接相談できる投稿フォームができました。**通っている学校に相談しにくいことがありましたら、この投稿フォームを使って教育委員会に相談してみてください。**



投稿フォーム

すばらしい取り組み!